



## 会長挨拶

「助産師の質保証に向けて」 会長 池田 かよ子

会員の皆様、日頃より本会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。  
日本助産師会（以下、本部とする）では、教育体系としては「継続教育」と「専門教育」を2本の柱とし、さらに国の施策に関連した教育事業を勧めています。産後ケアの質保証としては「産後ケア実務助産師研修と修了者の承認」、開業助産師として助産師の実践能力評価である「開業助産師ラダーⅠの承認制度」を実施しています。  
新潟県助産師会（以下、当会とする）は、2019年度に本部に先駆けて産後ケア実務助産師研修と修了者の承認を行いました。その一年後に本部でも産後ケア実務助産師研修と修了者の認定を行うことになり、当会での修了者認定の作業は中止としました。この産後ケア実務助産師は5年に一度の更新となっていますので、当会の会員の中にも計画的に研修を受講し、更新された方もいらっしゃるかと思います。  
産後ケア実務助産師の教育目的は、産後一年までの母子とその家族を対象とした産後ケアについて、対象の状況に応じたケアを安全かつ一定の水準を満たす内容で提供するための基本的な知識と態度を習得することです。そのための研修として10の学習項目について20コマ30時間の研修を受講することを奨励しています。その研修項目を当会としても例年実施している「妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会」の研修内容と連動するよう計画しています。産後ケア実務助産師の承認のためだけでなく、地域で訪問する際はこの研修を必須研修と位置付け、日々の妊産婦や新生児訪問を行う助産師の質保証に繋がるよう計画しています。  
昨今、妊産婦を取り巻く年度より大きく変わってきています。また、子育てに関する法律や施策も次々新しくなっています。私たち助産師も既存の経験知だけではなく、最新の知見や情報について学習し、母子とその家族や女性に自信をもって、質の高い助産ケアを提供していきたいと考えます。  
ニュースレターでは、当会の研修会や各地区での取り組み、トピックスなどお知らせすることにより、当会をより身近に感じていただきたいと思います。今後もニュースレターの内容を充実していくために、会員の皆様からさまざまな情報をお寄せいただきますようお願いいたします！

## いいお産の日報告



10月19日土曜日10時～15時、三条市子育て拠点施設「すまいるランド」にて開催しました。  
災害時の避難備え物品をリュックに詰めて、重さを測って、担いで子供を連れて避難できるか体験して頂きました。  
災害が多い中、みなさんの関心も高まり74名の方にご来場頂きました。  
実際に避難物品を詰めてみて、これから準備するのに、イメージがついたり、子供が大きくなり中身を見直しますなどの声が聞かれました。  
今年は、災害伝言ダイヤルの方法もお伝えして、緊急時家族との連絡の取り方についてもお伝えしました。  
1人ひとりの備えが、緊急時の安心に繋がるよう準備できるといいですね。



燕・三条地区





令和6年12月8日、今シーズン最初の大雪の中、新発田市生涯学習センターで開催された「しばた人権フェスティバル」に、新発田助産師会は「いいお産の日」事業として参加しました。

最近の新聞のコラムに載っていた記事に、“少子化が進む状況で助産師は必要”かとの問いに、“助産師は単なる「出産の支援者」ではなく個々のニーズに応じたきめ細かな支援を提供、母子の健全な未来を創る重要な担い手である”と紹介されていました。少子化が進み出産が減っている中でも、出産と言う生命の誕生への関わりから、成長過程で人が人らしく生きる権利を守るための関わりに、助産師という立場から役に立てることを願い活動していきたいと考えています。昨年は、ミニ冊子“思春期”を作成し、今年はミニ冊子“赤ちゃんがいる家の防災グッズ”と“更年期”の2冊を作成しました。

今回の人権フェスティバルでは、新発田市の子供たちが作るイベント「ミニ！ミニしばた」が開催されたこともあり、多くの子供たちが私たちのミニ冊子を手に取り、胎児人形を見て興味を持ってくれました。

中には助産師になりたいというお子さんもいて、小学生なのに「助産師」を知ってくれたことに感動しました。何人かのお母さんには、子供たちの生理や思春期への対応のことなどをお話することもできました。今後も、このような人権フェスティバルのようなイベントに参加し、様々な人たちへの支援をしていくことが私たちの大切な進めるべき活動と思いました。



## 新発田地区



## 上越地区



- 「2か月からの赤ちゃんこんにちは」  
 テーマ：相談希望で2～4か月が多いということで例年このテーマを掲げ相談室を開いています。
- ① 育児・母乳・体重身長測定
  - ② デコルテマッサージ
  - ③ 災害時の授乳用品（備蓄品）・災害時のカップ授乳の展示説明の3つのブースで開催しました。

今回災害対策の活動を始めようが今年度の目的でした  
 1月の地震により心配が強くなっていたから意識も高くなった時期だからです。  
 ➡6/10<赤ちゃんのいる家族への災害対策支援の仕方>と題して新潟市森川さん佐久間さんの伝達講習があり、それを生かし継続させるという目的がありました。



- 参加者12組の親子・デコルテ希望11組  
 (ほとんどパパ同伴)  
 アンケートから
- ① 知ったのは：訪問助産師から・インスタ・ポスターを見て…
  - ② 普段の相談は：夫・母・子育て広場・SNS
  - ③ 災害の備品は？：している5・どちらともいえない2・いいえ3



デコルテマッサージは上越市の病院で実施されています。毎年継承できるように練習しています。

PRの仕方は難しいですね。多すぎると対応できるかと思うし。来年度また新たなやり方を検討中です！  
 会員が揃いお昼はお弁当と一緒に！交流がいつも楽しみです。





# 新潟地区

新潟地区では毎年開催している「いいお産の日」イベントとして、R6年度は「かぞく整体」というテーマで開催いたしました。開催日はR6年11月4日（祝）10時から14時30分。江南区福祉センター「きらとぴあ」にて。

講師には新潟県助産師会の賛助会員でもある赤ひげ整体院院長整体師 剣持大智先生をお招きし、事前予約をしていただいたご家族29名（乳幼児含む）にご指導をいただきました。

内容は、座布団を敷いた所に各ペアが座り講話をお聞きしたあと、実際にペアで仰向けやうつ伏せになってもらい、講師の説明に合わせてお互いの背部や頭部体に触れ、擦る・伸ばす・押すなどのケアを行いました。お互いの体に触れることで、疲れ具合や不調を感じたり、会話を通して体の状態を把握し合うことができ和やかな雰囲気で行われていました。

また、講師が回り各ペアに対して個別に指導してもらうなどさらに細かいケアを学ぶことができたと思います。

自宅でも継続できるよう、資料（YouTubeのQRコード付き）を配布もしました。

その他、希望者に対する育児相談、育児中の家庭用災害時持ち出し物品を展示し、備えについて個別に説明したり、助産師会の活動についても説明させていただきました。

参加者の感想では、自宅でのケアの方法、夫婦のコミュニケーションの取り方から防災グッズなど幅広い分野について学ぶことができ満足した。などが聞かれました。

スタッフの感想・反省点として、「講師は各ペアを回り個別の説明、助産師は育児相談や災害への備えの説明、お子さんたちの保育など、参加者に手厚く対応することができとてもよかった」「参加された父親たちがケアを通して癒されていたことが印象的だったし、父親の育児参加が進み夫婦で育児をすることが当たり前になりつつあることが感じられた」「母親への支援は広がっているが父親を対象にしたものは少ないので、父親も対等に参加でき夫婦・家族の絆を深めることができる今回のテーマはこれからの育児支援に必要な視点であったと思う。今回のように、他職種と協働して講座を提供することも今後は必要なのではないかと感じた」とたくさんのスタッフの意見や感想をいただきました。

これらを来年度の「いいお産の日」イベントに生かして行きたいと思います。

今年度は今までとは違った対象を絞っての開催でしたが、その分内容の濃いイベントになったと感じています。

色々な形での「いいお産の日」イベントを開催・企画できる新潟地区の助産師たちの発想力にこれからも期待して行きたいと感じました。



お疲れ様でした！



## 県助産師会事業



助産師が講座・健康相談をお受けします！

公益社団法人 新潟県助産師会

生と性の健康教育講座	子育て関係講座
陣痛タクシー他企業向け講座	プレパパママ教室
両親学級	育児相談会
不妊相談	助産師の健康相談会
他	



こんな内容です！



【対象となる方】

- ・妊娠しにくい？と不安な方
- ・妊活の継続や終わる時期で悩む方
- ・妊活終了後の悩みのある方

### 助産師による 妊活なんでも相談

【日時】 毎月 第4土曜日 13:00～16:00

※ホームページや県助産師会のFace Bookでお知らせします

【方法】 **オンラインによる面談**

※ご予約いただきましたら接続方法をお知らせします。  
当日も接続のサポートをいたします。

助産師は、性と生殖にかかわる専門職です。妊活中の女性やカップルの支援、不妊治療をはじめるかどうか、いつ治療を終了するか決める過程にも寄り添います。「自分らしさ」を大切にできる支援を心がけております。

なお、妊活相談員は、「不妊症看護認定看護師」又は「不妊カウンセラー」の資格を持ち生殖医療に関する知識とキャリアをもつ助産師が対応しています。



# にいがた助産師そうだん

～赤ちゃん、子育て、妊娠、思春期、からだのこと～


妊娠やからだのことで悩んだら、  
ひとりで抱え込まずに相談を。

050-3146-9989

月～土曜 午後7時から9時まで  
(祝祭日・年末年始のぞく)

新潟県助産師会が、新潟県の委託を受けて運営しています

詳細はHPを  
ご覧ください♪  
お申し込みはお早めに。  
ともに学びましょう!!



## 研修会のご案内

公益社団法人 新潟県助産師会 主催

### 令和7年度妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会

開催日 令和7年4月11日(金) 12日(土)

開催方法 オンライン研修 (ZOOMライブ配信) 締め切り  
4/4(金)  
16:00まで

※後日オンデマンド配信予定です  
※申し込み方法は裏面をご覧ください

研修会テーマ：妊産婦とその家族を支える助産ケア

#### 4月11日(金) プログラム

09:15 オンライン入室開始  
09:20 オリエンテーション  
09:25 開会 会長挨拶 公益社団法人新潟県助産師会 会長 池田かよ子  
09:30 講演1 「新潟県の母子保健に関する統計と現状および5歳児健診の動向」  
新潟県福祉保健部健康づくり支援課母子保健係 廣田彩美 氏

10:30 報告 「ヒヤリハット報告」 新潟県助産師会 安全対策委員  
10:45 休憩  
10:55 講演2 「妊婦高血圧症候群を発生した妊産婦のケア」  
新潟大学医学部総合病院 助産師 母性看護専門看護師 森山幸枝 氏

11:55 休憩  
12:45 講演3 「子どもと家族の暮らしを支えるためにできること  
～家族看護の視点から学ぶ～」  
聖路加国際大学看護リカレント教育部 家族支援専門看護師 横田益美 氏

14:45 休憩  
14:55 講演4 「NICU入院児の退院後の生活を支えるためのしくみについて」  
新潟大学医学部総合病院 NICU入院児支援コーディネーター 伊藤綾 氏

15:40 講演5 「ドナルド・マクドナルド・ハウスについて」  
ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた ハウスマネージャー 福川悠也 氏

16:25 終了

#### 4月12日(土) プログラム

09:20 オンライン入室開始  
09:25 オリエンテーション  
09:30 講演6 「はじめようブレコンセプションケア  
～地域・組織と協働したウイメンズヘルスの実践～」  
済生会新潟県中央基幹病院 助産師 母性看護専門看護師 吉森谷子 氏

11:00 休憩  
11:10 講演7 「NIPTの現状と意思決定支援」  
新潟大学医学部総合病院 助産師 認定遺伝カウンセラー 藤田沙緒里 氏

12:40 アンケート 終了

妊産婦とその家族を支える助産ケア


### 令和7年度妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会

#### 参加申し込みのご案内

- 新潟県助産師会HPの研修案内から、新潟県助産師会会員・会員以外のフォームのうち該当するフォームからお申し込みください。申し込み確認後、事務局からご案内メールをお送りします。
- 当日はZoomによるオンライン研修です。後日配信予定のオンデマンド配信もあわせて受講できます。オンデマンド配信のみの参加申し込みはありません。
- 研修会の申し込み・参加費の入金締め切りは4月4日(金) 16:00です。
- ご入金後の返金はできません。ご了承ください。
- ご入金確認後4月8日(火)までに、講義資料・ZoomのURL・ID・パスワードを申し込みのメールあてにお送りします。資料などが届かない場合は事務局までご連絡ください。
- 事務局のメールアドレスが変更となっています。4月1日から新メールに完全移行します。旧アドレスは使用できません。お問い合わせなどの際はご注意ください。
- 各種お問い合わせは前日の4月10日(木)までをお願いします。研修会当日のお問い合わせには対応できません。

本研修は訪問従事者会員は必須研修です。  
本研修は日本助産師会の産後ケア実務助産師研修にすべての講演が対応しています。  
CloCMIPレベルIII認証申請の「選択研修」に対応しています。(講演4と5を除く)

新潟県助産師会HP研修案内  
<https://niigatamidwife.jp/index.html>



お問い合わせ先  
公益社団法人 新潟県助産師会  
〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2-11  
TEL:025-267-9772 FAX:025-265-1345  
E-mail:n-jyosanshi.jm@niigata-midwife.jp  
4月1日から上記アドレスへ完全移行します。  
旧アドレスは使用できませんのでご注意ください

研修会参加費  
新潟県助産師会会員 7,000円  
会員以外 9,000円

参加費の振込先  
【口座名】(公社)新潟県助産師会  
●ゆうちょ銀行  
→ゆうちょ銀行【記号】11230【番号】26439471  
●他金融機関  
→ゆうちょ銀行【店番】128(仔二呼)普通預金【口座番号】2643947

公益社団法人新潟県助産師会主催研修会

### 講演会

講演 災害が子どもに与える影響と求められる対応  
～助産師に望むこと～  
講師：田中篤氏  
長岡赤十字病院小児科医師  
新潟県医師会理事

【日時】令和7年5月13日(火) 13:30～15:30  
【会場】新潟県看護研修センター 3階 大研修室  
新潟市中央区川岸町2-11  
(※駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をおねがいます。)

【開催方法】対面のみ  
【申込締切】5月7日(水)  
【申込方法】新潟県助産師会ホームページよりお申し込みください。  
講師資料は当日お渡しいたします。  
※申し込み確認メールが届かない場合は助産師会事務局までお問い合わせください。

【参加費】新潟県助産師会会員 1,000円  
会員以外 2,000円  
助産師学生 無料  
※当日、受付にて現金で徴収いたします。  
釣銭のないようご用意をお願いします。

【当日スケジュール】

10:00～12:00	令和7年度通常総会(会員のみ) 受付開始
13:00～	講演「災害が子どもに与える影響と求められる対応」
13:30～15:20	講師 長岡赤十字病院小児科医師 田中 篤氏
15:20～15:30	質疑応答・アンケート記入・終了

【お問合せ先】公益社団法人 新潟県助産師会  
〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2-11  
TEL 025-267-9772 FAX 025-265-1345  
E-mail n-jyosanshi.jm@niigata-midwife.jp

ご寄付のお願い  
新潟県助産師会の活動にご賛同くださいますよう皆様からの温かいご支援をお願いいたします。  
<お問い合わせ ☎ 025-267-9772>


広告掲載募集中  
<お問い合わせ ☎ 025-267-9772>

公益社団法人 新潟県助産師会

会員の方



ホームページを随時更新しています！  
定期的にご確認ください◎



新潟県助産師会 🔍 検索

<編集後記>  
ニュースレター11号をお届けします。今号も各地区での『いいお産の日』の取り組みをご紹介します。執筆してくださった皆様の御協力に感謝申し上げます。  
今後も新潟県助産師会の活動を広く知っていただくために、ニュースレターを不定期で発行していきます。取り上げてほしいテーマ・内容のご要望がありましたらお知らせください。ご投稿もお待ちしております!!  
(広報委員会:佐久間・青木)

